



ニコニコ箱

ありがとうございました

- 谷口 文利さん 島さん本日宜しくお祈いします。
- 宮本 和佳さん 本日の島さんの卓話たのしみにしています。
- 瀧川 嘉彦さん 家内に花をありがとうございました。
- 野上 泰造さん 島公造さん卓話楽しみにしています。
- 古屋 光英さん 島さん卓話ありがとうございます。
- 吉田 篤生さん 桜がキレイですね。島さん卓話よろしくお祈いします。
- 阪神タイガース応援団一同

今年もタイガースをよろしくお祈いします。

【本日の累計 21,763円(計6名 7件)(お誕生日お祝い 503,000円 皆出席表彰 110,000円 その他 2,115,748円) 累計額 2,728,748円】

本日の例会	4月14日(木)	前回の例会	4月7日(木)
●クラブフォーラム「雑誌」		●卓話「私の世相感」	当クラブ会員 島 公造さん
●卓話「ネット時代と新聞」 産経新聞社和歌山支局 支局長 堀川 晶伸さん		●ロータリーソング 「奉仕の理想」	黒田 純一 ソング委員長
●皆出席表彰 堀岡 忠男さん 1年皆出席 通算12年		●ビジター紹介 橋本R.C. 石脇 正雄さん	赤井 雅哉 親睦委員長
●ピアノ演奏 「屋根の上のバイオリン弾き」より サンライズ、サンセット 「キャッツ」より メモリー	中井 利枝さん	●出席報告 真野 賢司 出席副委員長 会員数 49名(内出席規定適用免除会員11名)	
		4月 7日(本 日)	35名 76.1%
		3月24日(メーキャップ後)	39名 90.7%

次回の例会	4月21日(木)
●卓話「ふるさと・わが町 紀州の地名」	筒井 洋和さん

クラブ名	日 時	内 容
和歌山城南R. C.	4月14日(木)	卓話「『青少年交換』こぼれ話」和歌山アゼリアロータリークラブ 会長 田原サヨ子さん
和歌山南R. C.	4月15日(金)	卓話「ふたつのふるさと」ノルウェー在中通訳・公認翻訳者ガイド 木村 博子さん
和歌山中R. C.	4月15日(金)	例会変更
和歌山北R. C.	4月18日(月)	創立記念例会
和歌山アゼリアR. C.	4月18日(月)	例会変更
和歌山R. C.	4月19日(火)	卓話「和歌山電鉄貴志駅の広報と私」毎日新聞大阪本社編集局記者 水津 聡子さん
和歌山サンライズR. C.	4月19日(火)	卓話
和歌山西R. C.	4月20日(水)	「2011年度米山奨学生の世話クラブについて」カウンセラー 中井 秀行さん、米山奨学生
和歌山東南R. C.	4月20日(水)	例会変更

●メイキャップ状況● (敬称略)
4月4日(月) ガバナー補佐会議 松田 洪毅

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分
事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
創立/1959年2月23日 会報・広報委員会 谷口 文利 笹島 良雄 岡野 年秀 堀岡 忠男 角谷 芳伸



「地域を育み 大陸をつなぐ」

「地域に広げよう、友情の輪」

国際ロータリー 第2640地区 和歌山東ロータリークラブ

URL <http://www.werc.jp> E-mail info@werc.jp

2011年 4月14日(木)

週報 / VOL.52 No.36(通巻2491)

会長報告

野上 泰造 会長



皆様、こんにちは。会長報告を申し上げます。
橋本RCの石脇様、ようこそお越し下さいました。ごゆっくりとなさって行って下さい。
ようやく暖かくなって来て、桜の花もほころび始めました。例年ならばうきうきする季節ですが、東日本での震災の被災者の状況を思うと気が重く、辛い日々です。そして日本中が自粛ムードになっています。文化や芸術、スポーツなども中止や延期が相次いでいますが、行き過ぎた自粛は活力を奪うものだと思います。

海外でのマスコミは、日本は滅亡したかのように報道するため、震災の影響の全く無い大阪USJ、大分湯布院、長崎ハウステンボスなどでも、外国人観光客は、例年の9割減とのことでした。

しかし、こんな状況の中で、「日本人は大変冷静であり、暴動も無く、秩序ある避難や行動に、不思議な国である。」と報じています。日本人の譲り合う心、助け合う気持ちは、世界の財産だと思います。

日本は、自然災害の多い国であり、台風、地震、津波などの災害に遭う度に、立ち直って来ました。そして今回も必ず復興する時が来ることを信じたいと思います。

幹事報告

古屋 光英 幹事



2640地区GSEチームが韓国3720地区(フサン・ウルサン)へ4月16日、関空より出発するとい
うお知らせがきております。

委員会報告

親睦委員会

赤井 雅哉 親睦委員長



先週のダイワロイネットでの夜間例会に御参加して頂き有難う御座いました。無事済みまし
た事を感謝申し上げます。又、次回の親睦の予定は6月4日(土)、5日(日)に一泊旅行を予定し
ています。場所は今月中頃には確定したいと思っておりますので皆様のご予定に入れて頂きたく
お願いします。

卓 話

私の世相感

島 公造 会員



本題に入る前に、先週、機械展示会のため香港、深圳へ行って来ました。今深圳で新しい商業エリア、住宅エリア、官庁エリアをつくっています。片道7車線の道路を基盤目上にし、地下鉄そして下水道、電線、ガス管等は全部地下に埋め込みです。住宅エリアのアパートは40階から50階、商業エリアは80階迄、役所からあらゆるものを同時進行で進めております。工業エリアは別にあります。それを見たときに東日本大震災の復興は必ず出来ると確信を持って帰ってきました。

それでは本題に入ります。私は学校を出てすぐ大阪で木材問屋に勤め、そこで社会学・人間学の基礎を習いました。

私の勤め先は木材問屋で会社システムでしたが、売り先の町の材木屋はまだ御店といって旧日本スタイルの旦那はん、番頭はん、丁稚はんでした。「一言えば十解れ」「打てば響く」「1プラス1は3にも5にもしろ」営業で相手の会社に入るとき「スリッパが整理されているか、黒板はきっちり書いているか乱雑か」「トイレはきれいか」「その場の空気を読み」「話す時は相手の目をみて話ししろ」「得意先で担当者と話している時、となりの話も聞き耳立てておけ」こんな言葉をたたき込まれて育ちました。仕事だけ覚えるのではなく、人間形成・心・いたわりを習ったのです。この話は置いておいて。

四十五年ぐらい前、ケンタッキーフライドチキンやマクドナルドが日本に入って来た時、初めてマニュアル型の接客法を聞き、なんと心のない店員のしゃべり方だと怒りさえ感じました。客が注文すると「何々がお一つ・チーン（レジを打つ音）何々がお一つ・チーン・おいくらでございます・有り難うございました」人がしゃべっているのにカセットテープの心のない機械の声でした。この時私は未来に対して嫌な予感がしました。あれから四十年。人間のコンピューター化。学校から、先生、生徒、会社、役所、ありとあらゆる所がマニュアル化して心の通わない人間を造っていつているのである。

自分と意見が合わないとすぐ切れる。（それが包丁でブスッと後先考えず刺してしまうのである）（はたまた誰でも良かった殺人）（自分の親が亡くなっても死亡届も出さず、死体をほっておき年金詐欺をする）政治家も又ぼんぼん世襲議員だけでもうんざりしているのに、彼等も又典型的マニュアル型人間である。マスコミを含むみんなが不審にも思っていないのが又不思議である。芸能人のクイズ番組だの明石家さんまや紳介と馬鹿な番組でも何でもありの視聴率を稼ぐだけのマニュアルコンピューター人間である。

先月、尖閣諸島問題後初めて（十月）前原外務大臣が午前中、中国の外務大臣と話をした。部屋から出、報道陣に「うまく話せました、午後首相同士の会談が行われるでしょう」私たちは良かった、と思った矢先、中国側から「午後の首相同士の話は取り消し」と一方的に言われた。中国の外務大臣は前原外務大臣との話で怒っていたのである。実は私はこういう事態が起こらないか心配していたのである。なぜならば今のマニュアル政

治家はマニュアル官僚の作った文を読み上げて帰って来るだけだから（マクドナルドの売り子と同じ、相手の目を見ないで、笑いもなく、相手がイレギュラー発言をしても話について丸く収めるなんてとても出来ない。反応を見ながら又空気を読みながら話す事が出来ない、そんな人が大事な外務大臣なんて、とても、とても、恥ずかしい私達日本人。今回は多分相手の顔色も見ないで、官僚の作ってくれた文を相手の顔色も見ないで、しゃべって来ただけだろう。（商売人はもっと始末に悪いぞ、怒りを顔には出さないよ、まー中国の政治家はそれ以上にポーカフェイスだとは思いますが、だけど相手は悪いのではない、君たちぼんぼん議員では太刀打ちできないのである）相手はまるっきり正反対の思いなのに、それもつかめないのである。

その後、胡錦濤主席と我が国のトップ管首相様のお話。（情けないがこれも会談とは言えないおそまつ、恥ずかしさだった）相手はじっくり丁稚（管首相）が旦那さんから仰せつかった文を読み上げているのを見ている。相手国の王様の顔も見ないで最後まで賢く読んだ。これでは清王朝初期の朝鮮の様な属国である。

話は元に戻りますがトップから下まで我が国は四十年かかって心のない機械人間を沢山造ってしまったのである。私の他にもう一人四十年前に国の近未来を心配していた人がいたのである。

それは1970年割腹自殺した三島由紀夫氏である。この時代は日本は高度成長を成し遂げ、国中が好景気で沸いていた時代である。その中で2010年の今日を見ていたのである。彼は死ぬ四ヶ月前に書いた中に「近未来日本人は無機質なニュートラルな人間になるだろう」今、正にその時になっているのである。

無機質とは今のコンピューター人間（人の事は考えず自分の目先だけ）ニュートラル（哲学の無い無責任などうでも良い人間・ニート・ホームレス）（何でも誰かのせいにしたり、社会のせいにする人間）（自分で何かをしようとかいう気はさらさら人間）日本は教育から国会まで同時に昔の日本、日本人づくりをしないと未来は無いぞ。今日本全体がよーいドンとスタートしても結果が出だすのは二十五年・三十年先である。

震災復興も大事であるが、企業は力をつけて国際競争力をつけて走り続け、外貨を稼いで復興の資金にしなければなりません。TPPを6月に加入するのが次ぎになってしまった。企業力を付けるのにTPP加入は不可欠です。韓国は法人税は25%、日本は40%です。輸出すれば相手国から10%から15%のタックスを乗せられます。TPP参加諸国はノンタックスです。しかし農産物は買わないけません。日本の農業者の平均年齢は66歳、GDPの1.5%です。農業を切れとは云ってません、ただ国が補助を出すだけではなく、青年が希望を持てる農業者をつくらなければならない。韓国は国家を挙げて進めています。紀北でもお茶は出来ます。米よりコストは良いです。コーヒーは世界的に不足していますが、温室で日本で栽培すべきです。一個一万円の宮崎マンゴは成功しました。日本全国付加価値の高い農産物を、青年が携わる農業がこれから必要です。ものを点で見ずに、線、面で見たいける日本人に戻って行かなければなりません。